

— 検査項目一覧 —

検査項目		検査内容	わかること（要約）
身体検査		体重測定	肥満の有無、急激な体重減少の有無
		体温測定	発熱、低体温
		心音・肺音・腸音の聴診	雑音による心臓病や肺炎の発見、蠕動運動の程度
		眼・耳・口腔・皮膚・腹部・体表リンパ節等の視診や触診	しこり、皮膚炎、歯肉炎など各種異常、腹部臓器の腫れなど
血液検査 (ホワイต์)	血球計算 (CBC)	白血球(WBC)、WBC5分類、赤血球(RBC)、RETICS、Hb、Hct、MCV、MCH、MCHC、PLT	貧血・多血や炎症の有無、血液系がんの発見、 血小板減少症の発見など
	血液化学	TP、Alb、Glob、Alb/Glob、ALT、AST、ALP、GGT、 T-Bil、T-cho、TG、Glu、Amy、Lip、SDMA、BUN、 Cre、BUN/Cre、Ca、P	肝臓、腎臓、脂質代謝など各種異常、低アルブミン血症、 低血糖、高血糖の発見、ホルモン病発見、膵炎、高Ca血症、 黄疸、高P血症等の発見など
	電解質	Na、K、Cl	電解質異常の発見、ホルモン病の発見
血液検査 (グリーン以上)	血球計算 (CBC)	白血球(WBC)、WBC5分類、赤血球(RBC)、RET、Hb、Hct、 PCV、H、MCV、MCH、MCHC、PLT、血液塗抹評価	同上
	血液化学	TP、Alb、Glob、Alb/Glob、ALT、AST、ALP、GGT、 T-Bil、T-cho、TG、Glu、Amy、Lip、BUN、Cre、 BUN/Cre、Ca、P、NH ₃ 、CK	
	電解質	Na、K、Cl	
胸部X線検査		胸部、腹部を横向きと仰向けの2方向からX線を用いて撮影	心臓・肺・縦郭・前胸部の異常、腹部臓器の大きさ、異物、結石、しこり、 背骨の異常など
直腸検査		グローブをはめ、指を肛門内にいれて触診	直腸ポリープ、しこり、ヘルニアの有無、前立腺の大きさなど
耳鏡検査		耳鏡を外耳道内に挿入し、観察、評価	外耳炎、耳道ポリープやしこりの有無、耳道狭窄の程度、耳ダニなど
尿検査	試験紙	BLD、Glu、Pro、Uro、Bil、Ket、pH、比重	血尿、黄疸、腎臓病、膀胱炎、糖尿病など
	比重計	尿比重、TP	腎臓病の程度の評価など
	塗抹検査	赤血球、白血球、細菌、結晶、円柱、上皮細胞、その他異常	膀胱炎、膀胱がんの発見、腎臓病の評価、結晶の発見など
便検査	直接法	持参いただいた糞便の一部を直接顕微鏡で観察	ジアルジア、トリコモナス、回虫、鞭虫、マンソン裂頭条虫、壺形吸虫、
	浮遊法	持参いただいた糞便から寄生虫卵・シストを集め、鏡検	コクシジウム等の検出、消化不良、菌叢の良し悪し、酵母菌の発見など
腹部超音波検査		ゼリーやアルコールスプレーで濡らした毛をかきわけ 超音波を発生する装置を当てて、腹部臓器を観察	肝臓、胆のう、脾臓、胃、腸管、腎臓、膀胱、前立腺、卵巣、子宮、副腎 膵臓、腹腔内リンパ節等の異常（炎症、しこり、結石など）の発見、腹水
心臓超音波検査		ゼリーやアルコールスプレーで濡らした毛をかきわけ 超音波を発生する装置を当てて、心臓、その周囲を観察	フィラリアの発見、心臓病の発見、心臓病の評価、心嚢水、胸水、 心臓のしこりなど
心電図検査		横になり、肘と膝の近くに電極をつけて測定	不整脈の有無、伝導遅延の有無など
血圧測定		手足や尾のいずれかにカフをまいて、非観血的に測定	高血圧・低血圧、腎臓病や心臓病の評価 ※緊張により一時的な高血圧がやすい
眼科検査	検眼鏡検査	検眼鏡を用いて、睫毛、角膜から眼底まで観察	異所性睫毛、角膜炎、ブドウ膜炎、色素沈着、虹彩癒着、網膜剥離、
	細隙灯顕微鏡検査	細隙灯顕微鏡を用いて、角膜、虹彩、眼底までを観察	緑内障、コリーアイ、遺伝性網膜萎縮症など眼科疾患・症状の発見、評価
甲状腺検査 (T ₄)		採血、外注検査 ※血液検査の追加検査として ※数日かかります	甲状腺ホルモン値を測定し、機能低下症、機能亢進症を発見、評価
ACTH刺激試験		副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)投与前後で採血、血中コルチゾールを測定、外注検査 ※血液検査の追加検査※数日かかります	投与前後のコルチゾール値により、副腎皮質機能亢進症、 機能低下症を発見、評価
CRP		採血、外注検査 ※血液検査の追加検査 ※数日かかります	体内の炎症の有無
SDMA		採血、外注検査 ※血液検査の追加検査 ※数日かかります	腎臓病の早期発見
NT-proBNP		採血、外注検査 ※血液検査の追加検査 ※数日かかります	心臓病補助診断、心筋の負担など
ANP		採血、外注検査 ※血液検査の追加検査 ※数日かかります	心臓病補助診断、心房のうっ血の評価など
腫特異的 リパーゼ	Spec cPL™	採血、外注検査 ※血液検査の追加検査 ※数日かかります	犬の膵炎診断補助
	Spec fPL™	採血、外注検査 ※血液検査の追加検査 ※数日かかります	猫の膵炎診断補助
UPC		尿を持参または採尿、外注検査 ※数日かかります	腎臓病の評価
針生検		しこりやリンパ節に腫れがある場合、針をさしてとれてくる 細胞を観察、評価	良性腫瘍、悪性腫瘍、炎症の評価、補助診断 ※確定診断は困難な場合が多い
神経学的検査		触診、姿勢反応、脊髄反射、脳神経、知覚、排尿機能	椎間板ヘルニアのグレード・位置、知覚・運動神経など神経異常